

# 令和5年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 伏虎義務教育 学校
校長氏名	古田清和
作成日	令和6年3月2日

## 1 教育目標

**心豊かで、自ら学び、夢と希望を持ってたくましく生きる人間の育成**

## 2 本年度の取組についての評価

	進んで学び、しっかり考える子供	心豊かで、思いやりのある 優しい子供	健やかに、たくましく生きる 元気な子供	地域とともにある学校
<b>指標</b>	<b>学校評価アンケート</b> ・毎日の勉強がわかる。(前期) ・授業は楽しく分かりやすい。(後期)  <b>全国学力学習状況調査</b> ・話し合いを通じて考えを深め広げる。 ・資料や文章、話の組立てを工夫して発表できる。	<b>学校評価アンケート</b> ・学校が楽しい。 ・私は友達となかよくしている。 ・私はそうじを一生懸命している。 ・誰にでもあいさつができる。(前期) ・気持ち良い挨拶をしている。(後期)	<b>学校評価アンケート</b> ・自分の将来の進路や生き方について考えることができています。(後期) ・将来の進路や職業について適切に指導している。(後期保護者) ・学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を行っている。(保護者)	<b>学校評価アンケート</b> ・学校は、子供の活動の様子を、保護者に分かりやすく伝えている。(保護者)
<b>重点目標</b> 【P】	・言語活動の充実 ・主体的・協働的・探究的な学習の充実 ・個に応じた指導、わかる授業実践の徹底 ・外国語教育・理数教育の充実	・体験活動の充実 ・道徳教育・人権同和教育の充実 ・自主的・実践的活動の推進	・特別支援教育の充実 ・基本的な生活習慣の確立 ・健康安全教育の推進 ・キャリア教育・進路指導の充実	・家庭・地域との連携充実 ・地域資源の活用推進 ・地域行事やボランティア活動への参加
<b>取組の状況</b> 【D】	・教職員全体で授業研究に取り組んだ。本年度は、サブテーマを「批判的思考を通じた自己表現」として、教科部を中心に研究を進めていった。(11月に研究授業を行った) ・6年生の算数科は、後期の数学科担当教員や算数の専門性の高い教員が、授業を行った。 ・5年・6年生で理科専科を配置し、専門性の高い授業を行った。 ・6年生は、外国語専門の教員を決め、全クラスにわたり授業を行った。他の教科においても、教科担任制を大幅に導入した。 ・リッチモンド市をはじめ、複数地域と国際交流を行い、異文化にふれる機会を多く持った。	・教育活動を広げるという考えに立ち、積極的に儀式的行事や体験活動の充実を図った。 ・岡山幼稚園・附属小中学校と連携し、人権同和教育の研修や実践発表を対面式で行った。 ・運動会では、学年の枠を超え交流が行われた。終わった後も、学年行事での交流が続いている。 ・全学年とも学習発表会を実施することができた。 ・後期生は、学習発表会で、教科及びわかやま創造科で学習した成果を発表した。その後も、成果物を廊下に掲示し、児童生徒が共有できるようにした。	・講師を招き、支援や配慮の必要な子供について研修を行い、教職員の資質能力の向上を図った。 ・保健室だよりの発行、保健委員会活動を通じて、健康についての意識向上に取り組んだ。 ・「食」に関わる掲示や通信で、健康についての意識を高めた。 ・8年生は、職場体験を通して、職業について深く学ぶと友に、将来の進路や生き方についても学んでいった。また、8年生だけでなく、他の学年も様々な職業の方に出勤授業をしていただいた。	・伏虎通信を毎月地域に配布させていただいた。 ・HPを通じて学校の情報発信に務めた。 ・学校図書館ボランティアの方々や学校司書が定期的に来校してくださり、書架が整頓され、季節のディスプレイが飾られるようになった。また、低学年で、学校図書館で絵本の読み聞かせを実施することができた。 ・校庭の芝生化3年目。地域の方々にも水やりや芝刈り等のメンテナンス作業の支援をいただき、昨年度以上に緑化が進んだ。子供たちの怪我の減少につながっている。
<b>取組の成果と課題</b> 【C】	<b>【学校評価アンケート】</b> ・毎日の勉強がわかる。(前期 低88% 中93% 高92%)、授業は楽しく分かりやすい。(後期88%) <b>【全国学調質問紙】</b> ・課題に自ら取り組むことができる。(6年80% 9年76%) ・資料や文章、話の組立てを工夫して発表できる。(6年70%、9年64%) ・話し合いを通じて考えを深め広げる。(6年83% 9年71%)  ○主体的・協働的・探究的な学習をさらに充実させ、思考力や判断力、表現力の一層の伸長を図りたい。	<b>【学校評価アンケート】</b> ・学校が楽しい。(前期 低96%中97%高93%後期92%) ・私は友達と仲良くしている(前期 低99%中100%高97%後期96%) ・私はそうじを一生懸命している。(前期 低95%中94%高96%後期89%) ・あいさつができる。(前期低87%前期中91%高89%後期85%) ・相手や場に応じた言葉づかいができる(後期92%)  ○自己評価では、概ね良好な結果であった。今後も、継続して、「時を守り、場を清め、礼を正す」の意義をしっかりと理解させる取組が必要である。	<b>【学校評価アンケート】</b> ・授業や体験活動で、進路や生き方について考えている。(後期81%) ※類似の質問として【全国学調質問紙】(4月)で、「夢や目標がある」で、前期80%後期67%だった。 ・学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を行っている。(保護者86%)  ○今後も、火災や地震時の避難訓練(各1回)、不審者対応訓練を実施し、災害等への備えを図っていく。また、継続して交通安全教室の開催を実施していく。 ○将来の生き方について考える機会を充実させる必要がある。	<b>【学校評価アンケート】</b> ・学校は、子供の活動の様子を、保護者に分かりやすく伝えている。(保護者87%) ・家の人に学校のことをよく話す。(前期低88%中87%高75%後期71%) ・伏虎通信については、地域・保護者それぞれに向け毎月発行できた。 ・今年度も校区の商店や地域人材の協力を得ることができ、子供たちの体験的な学習に寄与していただいた。 ○コロナ後、地域・保護者との連携の機会が増やすことができた。
<b>改善方法</b> 【A】	・11月の研究発表会を研究の軸に据えながら、随時、研究授業・協議会を開催したり、教員同士が互いに学び合う機会をもち、教員の授業力向上を図る。 ・児童生徒が探究的に学ぶ力を育成することを目標とし、教職員全体が一体となって授業研究に取り組む。 ・学校図書の実践をさらに進め、子供達が集う魅力ある学校図書館づくりに取り組むことで、読書習慣の確立を進める。	・「時を守り、場を清め、礼を正す」の意義を理解し、主体的に取り組む姿勢を継続して養う。 ・「いじめなくそうデー」の取組の継続と充実、及び「特別の教科道徳」の授業の充実を図り、豊かな心を持った子供を育成に努める。 ・玄関でのあいさつ運動(スマイル活動)を継続し、挨拶を大切にすることをさらに高める。	・SCやSSW、関係機関と連携したケース会議を定期的開催し、指導方針の共有、個別支援の充実を努める。 ・給食を通じて、食育に対する意識をさらに高める。 ・職場体験や出勤授業(職業講座など)の実施など、体験的な活動を取り入れ、キャリア教育の一層の充実に向けて取り組む。	・学校の情報がより広く伝わるように、HPの一層の充実を努める。 ・学校通信で、子供たちの日頃活動の様子をより一層伝わるように工夫する。(保護者向けと地域向けを発行する) ・地域や育友会(PTA)と連携した活動を充実させる。 ・コミュニティスクールと連携し、学校と地域人材や地域資源をつなぎ、職場体験や出勤授業等を充実させ、体験的な学習の機会を増やす。

## 3 その他の課題

清掃などで縦割りの活動を実施するなど、学年を越えて前期後期生が連携・協力する機会を今以上に増やす。前期高学年の教科担任制を導入するにあたり、より効果的な実施方法を探り、今年度5、6年生で実施した教科担任制をより実のあるものとしていきたい。前期後期の教員の交流をさらに進め、義務教育学校としての特色を出していく。